



会長	岩 淵 正 彦
幹事	高 橋 利 光
会報	江 川 元 徳 清 水 健 猪 股 育 夫 村 上 武 彦
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2522回例会 2015. 10. 22 No.16

### 本日の出席率

・本日の出席率 100%

### ニコニコボックス

- ・岩淵正彦会長 今日のスピーチ担当、菅野幸一郎会員、ゲストスピーチの千葉様宜しくお祈りします。
- ・佐藤静市会員 ゲストスピーチのスピーチに期待。妻の誕生祝に大きい鉢花をいただきまして、ありがとうございました。
- ・佐藤早智子会員 先週、私の誕生日に素敵な観葉植物を届けていただき、ありがとうございました。
- ・阿部泰彦会員 氏家家のご婚儀を心からお祝い申し上げます。大盛況で開店しましたウジェスパー仙台小田原店のオープンおめでとうございました。仙台居住の娘、孫達が近くなので利用させていただいております。2階のスポーツジムにも通ってお世話になっています。  
菅野幸一郎会員のゲストスピーチ千葉淳一さんを歓迎して。先日の佐沼中央商店会協同組合のフリーマーケット、多くの人出で賑わいました。ご参加ありがとうございました。
- ・氏家良典会員 先日の息子の結婚披露宴には多数の出席をいただきありがとうございました。お陰様でやっと色んな意味で一区切りができた様に思います。今後共宜しくお祈り申し上げます。
- ・菅野幸一郎会員 本日は私のスピーチでしたが、河北新報社本社より千葉淳一さんをお招きして、代りにスピーチをして頂くことになりましたので、宜しくお祈り致します。
- ・鈴木彦太会員 菅野幸一郎会員のゲストスピーチを楽しみにご期待申し上げます。ゲストの千葉淳一様をご歓迎申し上げます。
- ・布施孝之会員 菅野幸一郎会員のゲストスピーチを楽しみに。
- ・村上武彦会員 本日のスピーチに期待して。

- ・飯塚仁哉会員 今日のゲストスピーカー、河北新報社の千葉淳一記者さんには面白い裏話等遠慮なく聞かせてください。
- ・江川元徳会員 2015. 10. 18、三島の米山梅吉記念館へ参りました。
- ・二階堂學会員 千葉淳一ゲストスピーカーのスピーチにご期待します。
- ・遠藤光則会員 ゲストスピーカーを歓迎します。
- ・猪股育夫会員 ゲスト千葉淳一様のスピーチに期待して。
- ・高橋義文会員 ゲストスピーカーの千葉淳一様を歓迎いたします。
- ・及川富男会員 ゲスト千葉淳一様のスピーチに期待しています。
- ・清水健会員 本日のスピーチを楽しみにしています。
- ・伊藤幸子会員 今日は秋晴れで気持ちの良い日です。体調に気をつけて頑張ります。皆様方も!!
- ・高橋利光幹事以下、ゲストスピーカーを歓迎して。  
佐々木崇会員 千葉吉男会員 山田直志会員  
小竹秀敏会員 佐竹孝行会員 佐々木源悦会員  
菅原慶一会員 小野寺伸浩会員 武川毅会員  
富士原裕子会員 只野佳旦会員 岩淵栄市会員  
佐々木淳会員  
以上、ありがとうございました。

### 会長要件 岩淵正彦会長

今週のはじめ10月18日(日)に、フリーマーケットが中江の公園でありました。天気も良く、風も無く最高のフリーマーケット日和でした。だいぶん遠くからも大勢の人が出て盛況でした。又、10月19日(月)午後6時30分から割烹小竹において、復興支援特別委員会による委員会が開催されました。協議事項は今後の支援活動の件で、10月23日から行事が目白押しですので、会員皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。詳しい内容については、阿部泰彦委員長よりお話があります。

パスト会長会の佐々木源悦代表幹事より連絡があったと思いますが、今夜6時30分よりサンシャイン佐沼においてパスト会長会が開催されます。よろしくお祈り致します。

### 幹事報告 高橋利光幹事

- ・ガバナー事務所より  
東日本豪雨被害に対する義援金口座開設の案内  
義援金募集期間 10月13日(火)~11月20日(金)
- ・川崎大師RCより 会報が届く

### 各委員会報告

- ・復興支援特別委員会 (阿部泰彦委員長)  
10月19日(月)午後6時30分より、復興支援特別委員会を持ち、今後の支援活動について協議いたしました。その内容をまとめて配布しておりますが、簡単にお話いたしますので、支援活動にご協力をお願い致します。
- 1. 川崎大師RCの支援活動  
日時 10月23日(金) 11:00~  
支援場所 南三陸町戸倉小学校  
集合場所 ホテルサンシャイン佐沼 (8:30~)
- 2. モンゴル国歌舞団による被災地訪問・文化交流  
日時 10月25日(日) 15:00~16:00  
支援場所 南三陸中瀬町仮設住宅  
集合場所 ホテルサンシャイン佐沼 (14:00)
- 3. 岐阜県土岐市東北復興市さんま祭  
日時 10月24日(土)、25日(日)  
支援場所 岐阜県土岐市、セラトピア土岐市
- 4. 大野俊三支援活動トランペット演奏  
日時 11月7日(土) 15:00~  
支援場所 登米・南三陸Festival

### 今週のスピーチ

河北新報社 販売部販売局  
学び応援チーム 千葉淳一様

今日は、皆さんが普段手にされている新聞をいつもとは違った視点で、これから見ていただけるようにお話させていただきたいと思っております。

私は塩釜市出身でずっと大学まで地元におり、会社も結果的に地元の企業に入りました。河北新報社に入った時は印刷部におりました。商品としての新聞を作る役目で、夜の8時に出社し朝の4時まで作業着に身をつつみ、インクと油にまみれて朝刊を印刷する毎日でした。入社4年目に報道部に移動になり、ここから経済担当、宮城県警担当を経験し、J1ベガルタ仙台のチームの様子を追いかけておりました。現在は販売部におります。

最近、家に新聞がないというのが当たり前になってきているご時世ですので、子供さん方が新聞をより身近に感じていただくために、新聞の読み方、使い方、遊び方をいろんな所に出掛けて行って紹介させていただくような仕事を今はしております。

皆様もご存知だと思いますが、「白河以北、ひと山百文」という中央政府の蔑視に反発した創業者、一方健次郎が、東北には素敵な文化と素晴らしい人々がいる、そんな東北を盛り上げる新聞を作るんだということで河北新報社を創業しました。今118歳を迎えております。その新聞社の現在の記者がどんな思いで仕事をしているのかということ、私の経験を踏まえなが

らお話をさせていただければと思います。

私が記者2年目、今から10年前の5月22日に飲酒運転のRV車による仙台育英高校生の死傷事故が起こりました。当時、育英では新入生の恒例行事として早朝に多賀城にある校舎を出発して松島まで行くという行事を開催しておりました。その生徒達の行列にRV車が突込み3人が亡くなり20数人が大けがをするという悲惨な事故でした。事故の翌日私の上司から亡くなったうちの1人男子生徒の両親のコメントをとってくるようにという指示がありました。それを聞いた時職業人としては行かなければならないが、子供を失った親に「今どんな気持ちですか?」とマイクを向ける、そこまでしなければならぬのかという気持ちで現場に向かいました。自宅の玄関を開けることに相当迷いました。1時間位どうしようかと迷いながらその辺をウロウロしていた記憶があります。夕刊の締切りが迫っており、キャップから記事の催促があり、どこかでふんぎりをつけなければならないと思いを決めて玄関を開けました。家の中には祭壇がしつらえ、その前に少年の遺体が横たえられており父親がじっと正座しておられました。私自身2月に長女が生まれたばかりでしたので、1人の親として子供を先に失う時の気持ちがこみ上げてきて、「河北新報の千葉です。」と言った瞬間に大粒の涙をこぼしてしまいました。それが職業人として正しいかどうか分かりませんが、私はその涙を止めることが出来ませんでした。

私はご両親に、もしこの事故の悲惨さや彼の生きた15年という短い人生の足跡を少しでも私が記事を書くことで残してあげることが出来るならば、その協力を認めて下さいと伝えました。良心的な方々でその胸のうちを話して下さいました。私はどんな気持ちだったかと振り返ってみますと、その時は自分の気持ちを何とか伝えなければということはいっぱいでしたが、やはり、河北新報は45万部も発行しておられて、その向こうには2倍、3倍の読者がおりその情報、その事故の悲惨さを私が伝えなければ読者には伝わらないという思いで玄関を開けたのだと思えました。

結果的には、出来上がった原稿はわずか23行でした。そのわずか23行の原稿の中に記者1人のこういう思いがあったんだと言うことをどこかで分かっていたらと思っております。これを機にある意味で自分が伝えることに対する覚悟というものがありました。自分が伝えなければだめだ、河北新報が伝えなければだめだという気持ちがより一層強くなりました。

— 紙面の都合上、以下割愛させていただきました。



スピーチをする千葉淳一様